

お知らせ

令和4年3月14日
国土交通省北海道開発局
帯広開発建設部

しずめばし 一般国道38号 鎮橋 技術検討会(概要)

帯広開発建設部では、架橋後55年が経過した鎮橋において、橋梁上部工の損傷について有識者による検討会を開催し、課題の解消に向けた対策(案)について議論しました。
議論の結果、主な結論として以下のとおり取りまとめました。

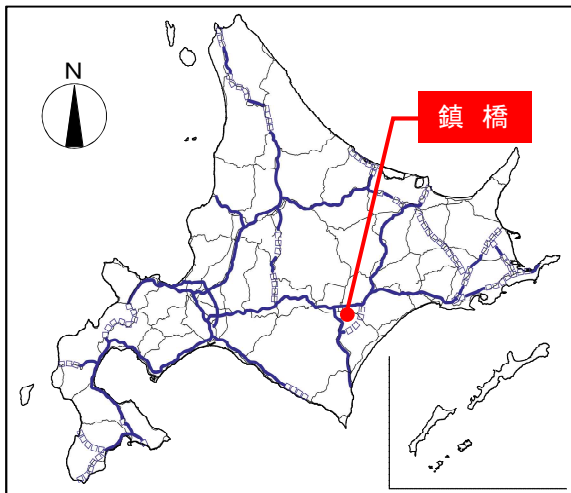
○鎮橋は、疲労と凍害の影響により主に床版および対傾構の損傷が進行し、今後、橋梁上部工の安全性低下が危惧され、早急な対策が必要。

○対策案については、補修・補強工法の検討結果を踏まえ、架け替えが妥当。

□開催日:令和4年3月11日(金)

□有識者:小室 雅人(室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 社会基盤ユニット 教授)
西 弘明(寒地土木研究所 寒地基礎地盤研究グループ グループ長)

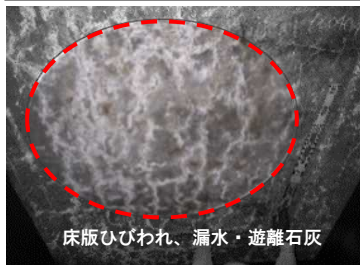
位置図



現橋の鎮橋の状況(全景)



現橋の主要な損傷状況



平面図



■問い合わせ先 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

道路計画課 課長 小林 将、道路調査官 深谷 弘明 (電話番号:0155-24-4106)